

山口県周南市

中心市街地活性化基本計画

【2期計画：令和2年4月～令和7年3月】

本市は、全国有数の石油化学コンビナートを中心に、化学や石油、鉄鋼等の基礎素材型産業を核として発展してきた山口県の工業の中心的役割を果たしている都市である。
 ・人口144,842人(H27年国勢調査)、面積656.29km²

【前期計画(平成25年4月～平成30年3月)の概要】

- 空き物件とのマッチング等の出店支援を行うテナントミックス推進事業等の取組により、新規出店数は増加。
- 旧徳山駅ビルの解体跡地に民間活力導入図書館や市民活動支援センター、飲食施設等の複合施設を整備する賑わい交流施設整備事業(平成30年2月オープン)により、歩行者等通行量について、最終フォローアップ値の測定時点には間に合わなかったが、平成30年時点の数値は大幅に上昇した。

【中心市街地の課題等】

○新たな商業機能の整備等による来街・リピート・賑わいの促進

新規出店数は増加傾向にあるが、その内訳を見てみると、増加傾向となった新規出店の業種は、飲食・食品販売の關係の業種が多く、日常的なショッピングのための新規出店については横ばいの傾向となっている。新規出店の促進について引き続き取り組んでいくとともに、日常的なショッピングのための物販・サービスなどの業種の新規出店を促すような取組が必要だと考える。

また、徳山動物園や文化会館、美術博物館の来園・来館者は横ばい傾向であり、動物園の来園者の増加のための取組や、駅前と動物園等の施設と繋ぐような取組が必要だと考える。

○都市機能の充実と都市環境の改善による利便性・快適さ・回遊性の向上

歩行者等通行量については、休日は増加したが平日は横ばいとなっており、平日の歩行者等通行量を増加させるために、商業・サービス機能に加えて医療・福祉・教育・文化などの都市機能を充実させるとともに、公共交通の利便性の確保などにより、居心地の良さを感じる都市環境を整備し、回遊性、滞在性を向上させる必要がある。

【目指す中心市街地の都市像】 まちの資源を活かした、だれもが主役となれるまち 公園都市(パークタウン)周南

みんなが行きたくなる、魅力あるモノ・コトが溢れるまち

【主要事業】

- ・徳山駅前地区第一種市街地再開発事業
- ・閉店・物件活用相談サポート事業
- ・徳山あちこちマルシェ
- ・つながる「場面」づくり
～ SLS(Super Local Site) ～
- ・空き店舗見学ツアー事業
- ・徳山動物園リニューアル事業
(アジアの熱帯雨林ゾーン)
- ・徳山動物園魅力向上推進事業
- ・児玉源太郎メモリアル事業
- ・お土産開発促進事業
- ・市街地循環線運行事業

など

【前期計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	実績値
みんなが行きたくなる、魅力あるモノやサービスが溢れるまち	中心商店街等への新規出店数	100店舗 (H20～H24)	149店舗 (H25～H29)	152店舗 (H25～H30.3)
みんなが快適に過ごせる、歩きたくなるまち	街なかの歩行者等通行量*	25,278人 (H24)	28,000人 (H29)	33,268人 (H30.3時点)

※ 算出方法：平日・休日調査結果の加重平均
 調査地点：14か所

【新計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値
みんなが行きたくなる、魅力あるモノ・コトが溢れるまち	物販・サービス業等新規出店数	62件 (H26～H30)	83件 (R2～R6)
	中心市街地内文化・観光施設来館者数*1及び宿泊者数*2	936,940人/年 (H30)	1,115,150人/年 (R6)
みんなが快適に過ごせる、歩きたくなるまち	平日歩行者等通行量*3	32,937人/日 (H30)	38,660人/日 (R6)

※1：各年度(4月～翌年3月)の徳山動物園、文化会館、美術博物館、中央図書館の来館者数
 ※2：各年(1月～12月)の観光動態調査の数値
 ※3：調査地点：15か所(前期計画目標の調査地点から1箇所削除、2箇所追加)

みんなが快適に過ごせる、歩きたくなるまち

【主要事業】

- ・商店街エリアマネジメント事業
- ・徳山駅南口駅前広場整備事業
- ・徳山駅北口駅前広場活用事業
- ・シビックプラットホーム活用事業
- ・街の情報発信メディア「とくやまっぷ」
- ・こども・子育て総合支援拠点事業
- ・商店街で育む子どもの可能性を伸ばす場作り事業
- ・周南ポイントカードアプリ「SHUPOCA」事業

など

周南市中心市街地活性化基本計画の事業概要

みんなが行きたくなる、魅力あるモノ・コトが溢れるまち

①徳山駅前地区第一種市街地再開発事業

徳山駅前地区市街地再開発組合が、徳山駅前商店街の一部を大街区化し、オフィス機能、マンション、医療関係施設、ホテル、商業施設、駐車場、駐輪場、広場等を整備する。

②閉店・物件活用相談サポート事業

まちづくり会社と中心市街地活性化協議会が連携して、商店の閉店や、閉店後の物件の活用に関する相談を受ける窓口を設置する。

③徳山あちこちマルシェ

徳山あちこちマルシェ実行委員会によって、パンを中心に毎回テーマを変えたマルシェイベントを約2ヶ月に1回程度実施する。

④つながる「場面」づくり

～ SLS(Super Local Site) ～

徳山あちこちマルシェ実行委員会、商工会議所、市民団体が連携して、統一的なマルシェの空間をつくるための、テント、テーブル、メニュー等の出店用のセットを作成する。

⑤空き店舗見学ツアー事業

中心市街地活性化協議会が、空き店舗への新規出店を促すために、空き店舗見学ツアーを実施する。

⑥徳山動物園リニューアル事業(アジアの熱帯雨林ゾーン)

徳山動物園内に、アジアの熱帯雨林ゾーンを設け、スリランカゾウやマレーグマ、熱帯雨林の鳥類等の動物を観覧できるゾーンを整備する。

⑦徳山動物園魅力向上推進事業

来園者に対して、動物のプロフィールやその動物をとりまく地球環境をわかりやすく伝えるガイドを職員とボランティアが行う。

⑧児玉源太郎メモリアル事業

中央図書館にて、児玉源太郎の功績の掲載や、児玉源太郎にまつわる品々を展示するコーナーを整備する。

⑨お土産開発促進事業

周南市のお土産が少ないという課題を解決するため、中心市街地活性化協議会が、商店に対してお土産を開発するための協力を行ったり、既存のお土産となりえる商品の広報活動を行う。

⑩市街地循環線運行事業

中心市街地内で市街地循環線「ちよい乗り100円バス」の運行を行う。徳山動物園夜間開園の期間や大きな祭りの日に関しては、通常9時から18時までの運行を時間延長する。

みんなが快適に過ごせる、歩きたくなるまち

⑪商店街エリアマネジメント事業

民間事業者が、市街地再開発区域を含む商店街一帯に対して、街並みや緑化、公開空地などの維持管理、イベント等の開催などによるエリアマネジメントを行う。

⑫徳山駅南口広場整備事業

JR徳山駅南口駅前広場の拡幅・整備を行う。

⑬徳山駅北口駅前広場活用事業

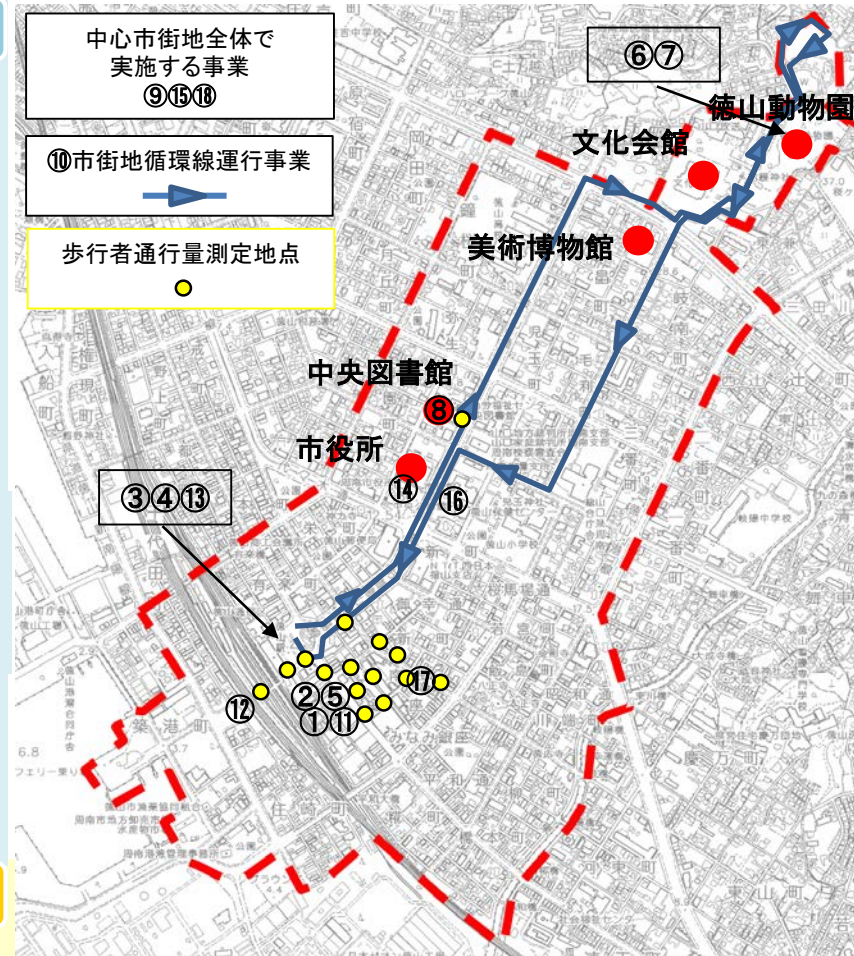
徳山駅北口駅前広場について、イベント等の実施を促進するために、利用の際のルール整備を行う。

⑭シビックプラットホーム活用事業

市役所新庁舎の市民交流スペースであるシビックプラットホームにおいて、活用を促進するために、賑わい交流施設と連携を図り、交流スペースの共有等を行うことにより、効率的な交流室の活用と、賑わいの創出を目指す。

⑮街の情報発信メディア「とくやまっぷ」

まちづくり会社が、ホームページ・駅前大型ビジョン等のメディアミックスによる情報発信を行う。また、事業の拡充として、徳山駅の新幹線構内スペースを、電源スポットの設置や周南の観光等スポットの紹介、当該事業による記事の掲載等を行う。



⑯子ども・子育て総合支援拠点事業

子ども家庭相談室を市役所から徳山保健センターに移転し、既に徳山保健センターにあった子育て世代包括支援センター「はぴはぐ」と共に「子ども・子育て総合拠点」として子どもに関する相談窓口のワンストップ化を行う。

⑰商店街で育む子どもの可能性を伸ばす場作り事業

民間事業者が、まちづくり会社や商店街等と連携し、小学生の放課後や長期休暇などに就業体験やIT学習のできる場を提供する。

⑱周南ポイントカードアプリ「SHUPOCA」事業

周南市の公共施設等や中心市街地の商店等に機器を設置し、スマートフォンをかざせばポイントが貯まるアプリを運用する。